



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

94.11.2No. 4088

一切り捨てられる福祉

年金法改悪を糾弾する!

厚生年金の支給開始年齢繰り延べなどを柱とする、「年金改革法案」が、今日、十一月二日参議院で可決・成立の見通しとなっている。

労働者の生活を直撃する

年金支給六五才への引き上げ

その「改革」の骨子は、①、厚生年金、共済年金などの支給開始年齢を現行の六〇才から六五才に繰り延べる。②、保険料率を厚生年金で現行の一四・五% (労使折半) から一六・五%に、そして九六年からは一七・三五%に引き上げ、二〇二五年には二九・六%にする。③、賞与(夏季手当・年末手当)からの保険料徴収。④、雇用保険の失業給付を受けている場合、厚生年金の支給停止。⑤、国民年金の保険料を九五年四月から月額一万一七〇〇円に六〇〇円引き上げ、以後九九年まで毎年五〇〇円の引き上げ。等々。

首切り攻撃に拍車をかける

年金制度の大改悪!

労働者をめぐる現在の状況は、「六〇才定年制」が「基本」であり、さらには六〇才以前での「若年退職勧奨」や出向などの首切り攻撃が全産業にわたってかけられ、又、その労働条件も

過労死が社会問題化するなどの「戦後最低の労働条件」下にある。そして現実にも、六〇才から六四才までの有効求人倍率は、〇・一%と働きたくても働けないというのが実情なのだ。

年金の支給開始年齢はどんどん遅らせ、支給額は大きく削られる。これが「二一世紀の本格的な高齢化社会にふさわしい年金制度」の本質である。まさに福祉切り捨てに他ならない。

現在でさえ過労死をはじめ荷重労働によって、年金給付前に死亡するケースが多くあり、一方では働く場は確保されない。六五才満額支給開始とは、こうした状況にさらに拍車をかけるものとなることは必定といわざるをえないのだ。

労働者の生活を収奪する

保険料率の引き上げ!

実際の「法案」の成立によって、労働者の手取り賃金は一%減る。さらに九五年四月からは夏季・年末手当でも一%(労使折半)が徴収される。

そして厚生年金の保険料率の引き上げによって、公務員などの共済年金の保険料率も連動して引き上げられる。これは三四・八%まで引き上げるとしているのだ。物価上昇率や賃金上昇率をはるかに上回る年金保険料の引き上げが、どれほど労働者の生活を圧迫するものとなるかは言を待たない。

国鉄労働者の生活を圧迫する

鉄道共済の破産状況!

われわれ国鉄労働者にとって、日本鉄道共済組合が国家公務員等共済グループの共済組合に加入し、同時に国民年金に加入していること、そして共済長期・短期という形で、膨大な保険料率にあることなど、又、この鉄道共済が、毎年平均三〇〇

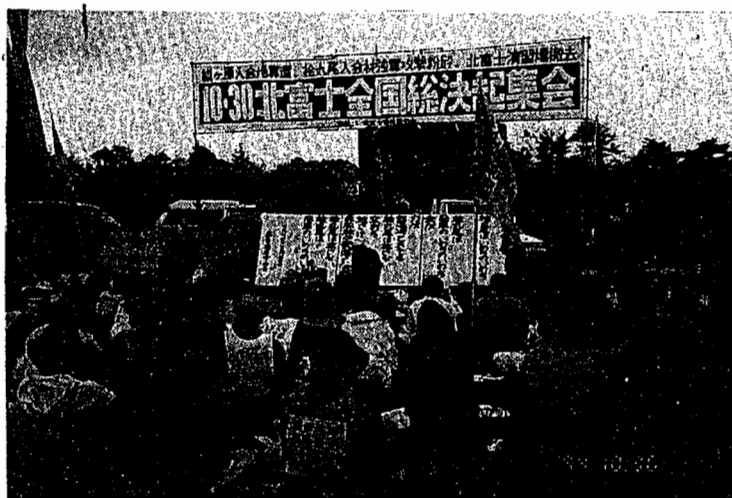
〇億円の赤字が見込まれているなど破産状況にあることの、「自助努力」が全て国鉄労働者にかかってくることをも事実として想定される。全くとんでもないことだ。このような労働者の生活と生命を収奪する、「年金改革法案」は断固許せるものではない。労働者の未来をかけた闘いこそが本当に求められている。

侵略戦争準備の村山政権打倒誓った

一〇・三〇北富士全国総決起集会!

「富士を朝鮮・アジアに直結させてはならない」という真紅ののぼりがはためく中、「一〇・三〇北富士全国総決起集会」が、北富士忍草母の会主催で、富士の裾野に広がる梨ガ原において開催された。

集会では、母の会が土を運び、苗を植え、水をやりながら育て上げた赤松林の所有権を、「第二組合のもの」とした一〇月二八日の東京高裁の判決を弾劾するとともに、北朝鮮・アジアへの侵略戦争準備の反動政治を進める村山内閣打倒を参加者全員が誓い、「北富士を自衛隊の侵略攻撃基地にするな」の怒りを結集して富士吉田市内をデモ行進を貫徹した。



一一・二〇反戦全国集会へ起とう!